



2002年 新年の

松前町議会議長 三好 悦男

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。「光陰矢の如し」と申しますが、月日の経つのは、本当に早いものです。世紀越えイベント「カウントダウン2001 in松前」が庁舎前で盛大に行われたのがつい先日のような気がいたします。

新世紀スタートの昨年は、師走に入って敬宮愛子内親王様がご誕生され、日本中が慶びにつつまれました。心よりお祝い申し上げますとともに、健やかなご成長をご祈念申し上げますと存じます。

しかし、一方では、我が国を取りまく社会、経済情勢は期待に反して、長引く景気の低迷、環境悪化による地球温暖化、少子高齢化の急速な進行など一段と厳しい状況となりました。国においても、種々の対策を講じていますが、焼け石に水の感がいたします。

こうした厳しい時代の流れの中、本町におきましては第3次総合計画における「人と緑が輝くぬくもりの町 松前」を基本目標に掲げ、人と環境にやさしいまちづくりを推進しているところであります。

新世紀のまちづくりは、町民の皆様とともに歩んでいかねばなりません。白石町長がモットーとされている「見える・分かる・クリーン」な町政の推進は本場に大切なことだと思えます。昨年9月の定例議会にて「松前町情報公開条例」が制定されました。この条例は、町民の知る権利を保障し、町政に対する町民の理解と信頼を深め、町民参加による公正で開かれた町政を推進すると定めています。これからのまちづくりの主役は文字どおり町民の皆様です。

市町村は今、大変な局面に立たされています。本町の将来に関わる合併問題です。国や県は地方分権の進展、行財政の効率化、住民ニーズの高度化、多様化などの有効な方策として、市町村合併を強力に推進しています。

合併問題は、松前町の根幹に関わる非常に大切な問題です。したがって、町民の皆様の声や意思を十分に汲み取り、様々な角度から検討し慎重に判断しなければならぬと考えます。本町ではこれまでに、広報まさきやホームページなどで情報を提供するとともに、昨年の9月に町内全世帯に「市町村合併Q&A 21」をお届けし、アンケート調査も実施しました。その結果を踏まえて、早い時期に町民の皆様の声を直接お聞きするために地域に出向く予定ですので、「まちづくりの主役」としてぜひ参加していただきませうようお願いいたします。

私たち議会といたしましても、町民の皆様のご意見、ご意思を尊重したうえで、行政と議論を重ねて将来に禍根を残すことのないよう、誤りのない選択をしたいと考えていますので、より一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年はいよいよ2002年ワールドカップサッカーが日本と韓国で開催されます。私たちに夢と感動を与えてくれることでしょう。日本選手の活躍を期待するとともに、ワールドカップサッカーをきっかけに景気の浮揚を願いたいものです。

町民の皆様にとりまして、本年が幸せでありますよう、お祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

松前町議会

副議長

福岡 知一

議員

重川 利春

伊賀上明治

三好 勝利

小野 景史

藤川 修次

木下 淳

田中 昭雄

大西 正典

植田 喜晴

岡田 幸一

八束 彰

亀井 隆典

水口 正三

加納太郎次